

火野葦平『新中国旅日記Ⅱ』翻刻，紹介【二】

増 田 周 子

はじめに

火野葦平は、一九五五年四月六日から十日にかけて、インドのデリーで開催された「アジア諸国会議」に日本の文化問題代表として参加した。「アジア諸国会議」終了後、会議に参加した日本代表団の一部の二十八名は、一九四九年十月一日に成立した中華人民共和国、すなわち新中国を視察することになる。火野も二十八名の一人として新中国の視察に参加した。火野らはカルカッタ、ラングーン、バンコク経由で香港に入り一九五五年四月二十日に汽車で深圳から新中国に入国した。そして、二十一日より広東から新中国を視察していく。広東、武漢を経て、四月二十八日に北京を訪れ、五月四日まで北京を視察する。その様子を、自筆資料『中国旅日記』に記している。この『中国旅日記』は、横9.5 cm、縦13.5 cmで「MEMORANDUM」と書かれた手帳であり、全168頁である。一九五五年四月二十一日から五月四日までの新中国の訪問中の出来事を詳細に綴った日記風の「メモ」であり、当時の記録として貴重なものである。『中国旅日記』については、拙稿ですでに翻刻紹介している。今回紹介する日記は、この『中国旅日記』の続きで、『新中国旅日記Ⅱ』というタイトルの日記である。『新中国旅日記Ⅱ』は、横9.2 cm、縦12.4 cmでグレーのクロス装「NOTEBOOK」と書かれた手帳であり、全110頁である。『中国旅日記』と同じく、「日記」の記述以外にも、領収書、写真、パンフレットなどを添付し、火野自筆の絵もかいていて、当時の新中国の視察の様子が詳しくわかる。なお、この『新中国旅日記Ⅱ』には、一九五五年五月五日から記され、五月十五日までが記録されている。論者はすでに、北京訪問の五月十日までの部分を

翻刻，紹介した。¹⁾今回は，その続きの，五月十一日から最後まで翻刻，紹介をする。撫順の戦犯収容所を訪れた時の記録や，アジア諸国会議の備忘録などが記され，なお，翻刻にあたって判読できない箇所は，□で示した。

翻刻するにあたって，火野葦平資料館をはじめ皆様方には貴重な資料の閲覧を賜り，深く感謝申し上げます。なお，現在は『新中国旅日記Ⅱ』は，北九州市立文学館に所蔵されています。重ねて御礼申し上げます。

5月11日（北京→東北）

- 全体会議。（9時半，二階会議室）三つに分れる団員。朝鮮行10名 中原君，事務局はいかないことになる。名称「アジア諸国会議日本代表朝鮮訪問団」団長 畑中，副団長 安部さきみ子，秘書長 坂本徳松，補助 泊谷。
 - アジア諸国会議の報告，畑中氏全般論。各部からの十分間報告，和田氏政治面で大演説，自分は文化部門，松本正雄さんが補足。工作人員へお礼のこと，七円づつ集め，香港でなにか買って，平和委員会にあてて送ることになる。亀田さん，カンエモンさんみて，お別れの挨拶する。坂本さん，秋に歌舞伎を呼ぶ努力することをみんな申しあはせる。とつくに十二時をすぎ二時になる。忙しいことおびただしい。
 - 四時，北京発。
 - 七時，食堂車へ行く。最後尾から，六七輛，中を抜けて行く。硬庫車の混雑，兵隊が多い。右三人がけ，左二人がけの広い椅子。赤ん坊づれ達。頭の上にハンモック。赤ん坊はタダで汽車にのるときもならばなくてもよい由。食堂。麒麟唎酒。蘇さんと同席。戚さんから芝居の話きく。ウタフ。
 - 昔の満州で，影絵芝居が面白かつた話すると，あれは方々にあつて，最近北京で全国の人形芝居，影絵芝居の合演があつた由。
 - 戚さんは京劇の文句がお上手ですねといふと，唱はできない，呼応だけと笑ふ。崑曲，越劇，紹興文献「遊園鷺夢」一老生劇などの話。
- * ソビエト話「母子車」の札の出てる列車箱。

*○朝食，部屋に持つて来る。ハムエツグス，卵三つ，エビフライ，パン，ジヤム，ミルク。

（○臣流汀蛄——清真菓子，回教）

5月12日（瀋陽）（四，五日，雨がひどく降り，晴れたばかりの由。）

- 10時7分着。なつかしい奉天である。駅の前には毛主席像，檯は赤塗り，軒は極彩色の装飾，広場には1945年に建てられたといふソ同盟の解放記念碑，頂上に戦車，昔はなかつたものばかりである。出迎への大勢の人たちと握手。車でホテルへ。昔の大和ホテル。舞台のある広間。出されたコーヒー茶碗セットは日本製らしいと思ひ，裏返してみると，けづつて消してあつた。部屋割り，233号，近藤さんといつしよ。ホテルの名「遼寧賓館」と変つてゐる。斜前の元満鉄。
- フィルムが切れたので，買ひに出る。街はあまり変つてゐないやうだが，名物だつた馬車（マーチヨ）まつたく見えない。三輪車も稀。無軌道バスや電車が發達。太宗町を歩いて行くと百貨店がある。同行は丹野，小林両氏。ガランとしたデパート。四階に写真用器。Agfaが4円13銭（北京は4円90銭）五本。本館の文房具部に行つたが，ロクな手帳がない。「紅星」一冊。
- 昼食後，一時出發。（270万人に中国第四の都会，北京，上海，天津 シンヨウ）
- 東北工業展覽会（東北工業陳列館）
- 鞍山のもの多し。詰□ チチハル
- 「没有□，便没不 鞏因的国防，便没有人民的福利，便有国家的富強」
毛沢東
- 工作機逐年度産量比較表

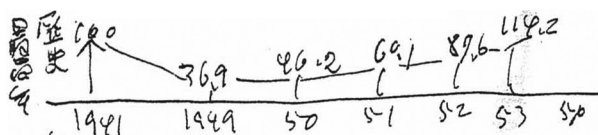
| | | | | | |
|------|------|-------|-------|-------|-------|
| 100 | 85.1 | 191.4 | 204.4 | 518.0 | 671.6 |
| 1944 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 |

- 全運輸車庫

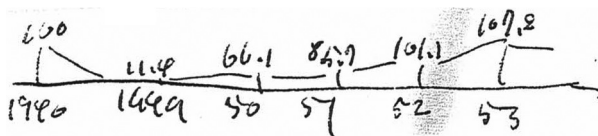
- 六角車床—瀋陽第三機床廠聚
- 技術革新者—伝昌義
- フライス—チチハル製，様子説明し操作する キカイの音。万能銑床
- 王崇倫 発明したものを前の牛頭銑床にとりつけた。前のでは四種類しかできなかつたが，それで18種できるやうになり，1年間で4年間の実績をえた。

- 空気圧縮機 ^{サクガン} 鑿岩機
- 水泵（ポンプ） ボイラー
- 二階—電器部 発電器

発電量逐年比較表（東北）



- 変圧器 ○ 関閥枢 ○ 選電器
- 磁電器 ○ 高圧線 ○ ドリル
- 電線



- 工具部 ベアリング，（丸い銅球）
パチンコ玉のやう

- 衝器 農器部
雙輪—禪犁—翻地開荒兼用
雙輪曳禪犁—束
操臂収割機—カマキリのヤウ

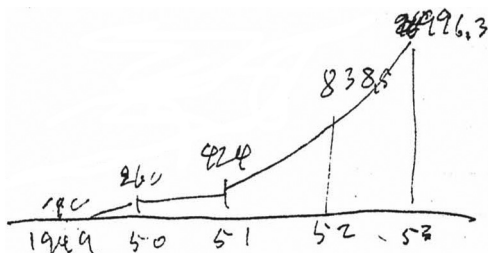
○ 歴年東北全区 農業生産合作社 (包括農体農荘)

| | 社満数 | 発展速度 | | 戸数 | 発展速度 |
|------|------|---------|------|-------|---------|
| 1951 | 25 | 100.0 | 1951 | 567 | 100 |
| 1952 | 1339 | 5556.0 | 1952 | 21309 | 3758.2 |
| 1953 | 4865 | 19460.0 | 1953 | 72581 | 16328.1 |

○ 圧化工部 (三階)

大連化工廠 (横型)

○ 東北化学工業

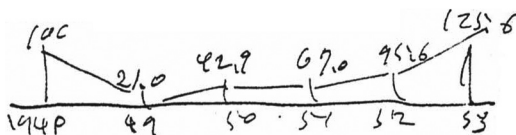


○ 硫酸, 煙酸 塩酸

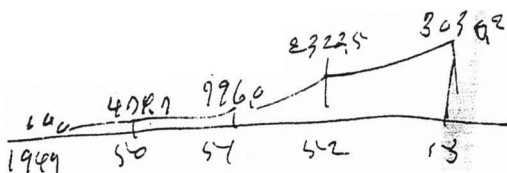
○ 666殺虫剤 (DDTの数倍) 害虫, イナゴ 蚊 蠅 等

○ 染料 ○油類 ○鉛油 (各種建築, 車両, 橋梁, 橋, 鉄器等々 塗料)

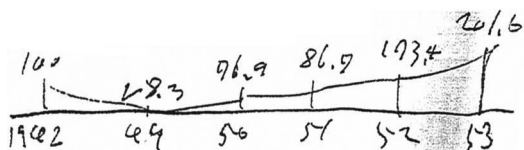
○ 石油 油田頁岩, 頁岩原油



○ ガソリン (汽油)



○ 造紙



○ 橡膠部 (ゴム, ゴム革, □□)

○ タイヤ, ゴム衣 膠船 膠橋

○ 監葯 医療機械

手術機械 薬品 (クロマイセチン 気嚢素)

○ 陶磁工業 (四階)

○ 有色金属 ○非金属, 大理石

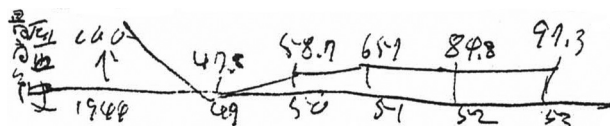
○ 煤□部 石炭の出来る順序 模型

古時代の動物たち ウヨウヨ, 劔龍 9m 恐龍 21m

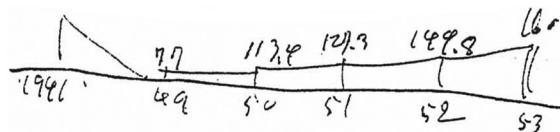
大洪水地層 沈澱 禽龍 9m

原生樹林, 松柏 40m, ソテツ 30m トクサ (杞朮) 10m

炭焼

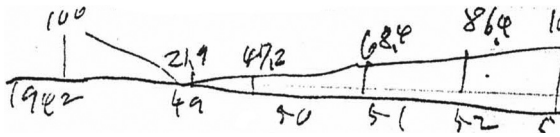


○ 玻璃 (ガラス)

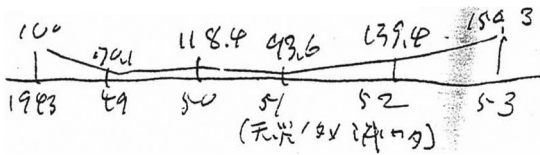


○ 耐火器財 石綿,

○ 水泥 (セメント)



○ 棉紡機 (五階) 棉花面積



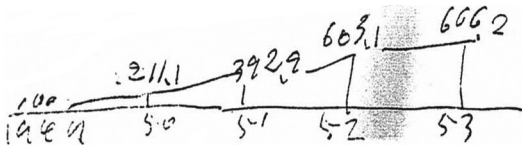
○ 絲紡機 (カイコ) 絹

○ 日用品 ○ 食品 (砂糖, ビール, 菓子, カンヅメ, サイダー)

○ 文化用品

映写機 (1959年からできるやうになつた)

書籍



(毛沢東選集, ガラス箱に)

○ 体育品

○ 屋上の休憩室から, ベランダに出る。濛々と黒煙に掩はれた街の周辺と空。昔はこんなでもなかつたやうに思つたが, 最近工場が立ちならび, 生産中心工業都市になつたものにちがひない。

○ バスに乗り, 郊外の方へ。ずらりと立ちならんだ赤煉瓦づくり, 三階建の住宅ならんでゐる。

- 労働者村（工人街）「瀋陽市鉄西区工人荘」
- 1952年～5年完成した。170棟，三階建，水道電気，スチーム，□□台所，便所，独身ならびに家族村，合作社，大衆風呂，病院，等は4年中に建設，映画館，劇場，クラブ，託児所，その他必要な施設の一切をたてる。7000世帯 33000人，周囲には四つの公園を作る計画。建物附近に，花華樹木をうえる。緑花児童遊場をつくる。——一棟は小さいのは24家族，大きいのは60家族。家賃——額（水道，ガス，台所，便所など入れて）一ヶ月5円，（住宅に入つてみる）
- 二部屋ある家族持，夫人ゐる。空気圧搾工場の組長，給料160円といふ。普通の工具の二人分。台所にある皿の中の豆腐。昔にくらべると格段によい部屋。

335人×23銭=80円アマリ。

- 市内一巡。
- 北陵公園。
- 夜招待宴。
- 唐岩光さん（平和委員会，秘書長）
- 玉つく

5月13日（鞍山）

- 午前九時駅発。前の寝台車に乗る。近藤，松本，吉岡三氏を相手に，時間つぶしに宋公館怪談をやつてゐたら，鞍山を着いたのを知らず，全部降りたのも知らず，一台だけ機関車に引かれて逆行しても，製鋼所の引込線へつれて行つてくれるのだなどといつてみた。みんなから探され笑はれた。宋公館の幽霊のたたりかも知れない。
- 樹木の多いゆつたりした鞍山の街。出迎への人たち。瀋陽に見える馬車が数台，並木の下で客待ちしてゐる。
- 「鞍山賓館」 ホテルのやうに部屋がある。
- 平和委員会主席，沈策さんの話。—

今建設中，製鋼所が中心。労働者が多い。1949年にはじまつてから，賃銀率は206%に当る。生活改善は他の施設にもあらはれてゐる。住宅は解放戦争のとき三三（三回入つて三回出た）ため，破壊された。1949年から修築，これだけで70万平方m，新家屋建設，今では134万平方m以上。条件，初期の家は劣つてゐた。特に□□□今年建てたうち劣つたものは臨時的，急激に工員増えたため。病院，相互病院四，鉱山の□□□，病氣 職業病二つ，一つは肺病，一つは風質的なもの，中風，リユーマチス，関節炎，東北で有名な温泉，湯嵐子，労働者療養地 叱林子温泉氏にもサナトリウムがある。肺疾□と□，市の結核防治所，企業奨励基金のうちから，千山にサナトリウムを建てることになつてゐる。千山は空気がいい。労働組合は労働保険金の中から儲課肺病休養所，ベット数2900。子供たちの生活情況——幼稚園 託児所，指定小学校が増えた。物価安定。労働者の賃銀は各面から改善された。

1952年鞍山人口37万，今は90万。平和をかちとる決意と運動。中日両国の友誼と将来の結びつき。鞍山製鋼所は工員10万足らず，市全体19万。

- 昼食。円卓9人，市平和委員会の秘書処，沈玉波さん。
- 工場〔中央人民政府鞍山鋼鉄公司大型廠 重工業部〕
- レール工場。すばらしい機械化，設備。

真赤な鉄，火花を散らして切られるレール，熱気でムツと熱くなる。汗ダラダラ。ソ連式をそつくり用ひ，その直接指導をうけてゐるだけあつて，万事が一貫した規模に立つてゐる。

- 食堂。献立表。意見を出して献立を組む。早午，昼，夜の表。三交替。
- 託児所，クリクリした子供たち。
- 無縫管工廠（ツギ目なし管）
- 煉鉄廠
- 鞍山工合線分会，工人第二療養院

食費1日90銭。半分は政府負担。業務——還付工場に通つてゐるのもある。

- 鞍山站。別にしてある寝台車に乗る。朝鮮に行かぬ南下組は香港まで、この車が専用らしい。駅のいたるところに、旅順国を最近引きあげたソ連軍歓送の文字がデカデカとかいてあるが、その中に「日本軍を撃滅した勇猛なるソ連軍に感謝する」といふのもある。
- 五時三分発車。日没、赤い夕日。疲れてゐたので上段にあがつて眠る。渾河をわたる。兩岸の橋畔にトーチカ、古いのが方々に残つてゐるが、こんなところを残すはずはないから、新しいのかも知れない。7時前、北京着。たいへんな雑踏。ここにも「歓送駐旅順□地区蘇軍団国」の文字。夕暮の空にそびえるソ日監解放記念塔。

※工具 76000

5月14日 (瀋陽)

- 催眠剤をのんだせいか、近藤さんよく寝てゐる。7時半に起す。さて、ソ連、ソビエト行どうしようかとまた考へてみたがまだ決心がきまらない。窓の下のリラの花、青空。
- 朝食。戚さんの卓に坐る。宮崎セイミンさん「北京で菓子の工場を見に行つた者が、つまらない見物をしたといつて、合作社であるといふことを見落してゐるんですよ」と戚さんにいふ（蘇琦さん）あまりいろんなことに口出ししない主義でゐたのだが、あまりの言葉なので、さうではない、設備のわるさを見たのではなく、やはり合作社たる意義は見落してはゐないといふ。宮崎龍介さんのイトコで、日中友好協会の常任理事といふことである。
- 「瀋陽市鉄西区工人村完全小学校」「瀋陽市鉄西区中国少年先鋒隊工人村完全小学校大隊委員会」などの看板。
- 校長、季成貴（33）さんの話。若い校長。——（鳥打ち工人帽）
- 1954年8月、正式に成立、教室南向日陽りよく、床は菱苦土、冬冷えない。一般教室18、音楽、運動、手芸室、児童閱覽室、衛生室その他。教員宿舎、託児所。隊部、修学生作品室、會議室。スチーム、水道。2079名、男1100、女950名。満8才—13才。工人村の子供たちの外、東部の者もある。低年級

- 生徒行儀よい。両手をうしろにしばられたように廻してゐる。シセイをよくし、セムシにならぬやう。
- 「瀋陽市瀋建台区大青村人民政府」
「瀋陽市西東区瀋建台分区大青農業技術推广站」
- * 劉振遠さん（合作社主任）
崔樹宣さん（大青村々長）
崔芳民さん（婦人代表）
- 楊柳，池，
- 青空をゼット機二台，爆音とともに走り去る。
- 農民図書室。黄色いフサのついた赤い表彰旗が十五本ほど壁にかけてある。昔風の建て方に，白ペンキ，青ペンキ。
- 劉振遠さん（大青村農業合作社主任）
- 封建的，地主階級のため，毎日オナカをすかし，着物もきることができなかつた。解放後，土地をもらつた。大青村民の生活向上，組織生産，1950年，挿具組をつくり，家畜のある家，ない家が共同使用，単位面積が各農家の収穫高が増えた。8家族にふえた。後，相互援助組。一人労働計算して収穫の後にわける。大八車（タイヤ付）を買つた。1952，合作社，28家族，土地を出資，持株として，家畜，大八車。持株によつて利潤をわける。人の才能，土地の価値を發揮させるため，区画をとりのぞき，収穫をあげた。カンサクイは貧しく，ふとんもなかつた。合作社参加しても困難があつたが，以後は生活がよくなれた。1953年秋，みんなが申しこみ，43家族にふえた。社員は事務所，馬小屋を立てた。54年度，馬で引く農具を入れ，53年秋の収穫は個人よりも70%あがつた。54年度は83戸になつた。人員増える一方，別業，養鶏団500，豚40数頭，川を利用して養魚コイ15000，特殊魚20000匹。文化活動，学生数，解放以前，小学生30数名，中学生二人，地主，一部の中農の子弟だつた。今，小学生全員，中学生70数名，30才以下文盲なし。婦人教育，炊事裁縫のヒマに子供から習ふ。図書室，借りだして田圃でよむ，読報□，

演劇団等がある。

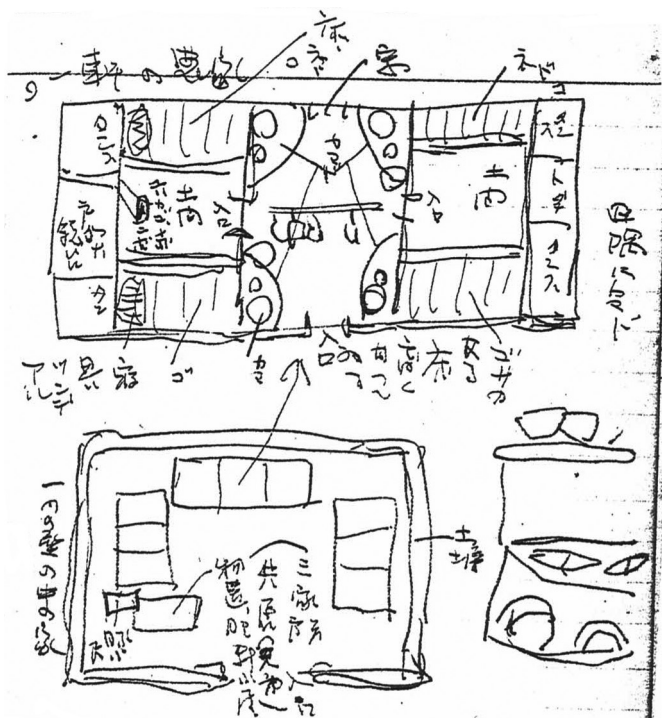
- 51年供鎖合作社 自頼組織, 日用品 農具 肥料, 文化品 収穫物を町に持つて行くといふ交換, 私人の搾取を免れる。
- 倍貸合作社, 金融機関, 貯金によつて高利貸から免れる。
- 9月, 豚, 穀物, 落花生などが生産されてゐる。
- 金そん信(女) 文盲であつたが六年生程度の学力を持つやうになつた。
- 衛生, もとはわるかつた, 家畜, 道が糞便して汚かつた。便所もたくさんできた。 ○ 子供の死亡率が多かつた。婦人保健所ができて, 産後死ぬことが少なくなつた。
- 83戸, 1700畝以上(1畝は日本の6畝) 9台の馬車, 35匹の馬, 新農具一式。
- 入つてゐない人, 十数戸, 自頼なので, ムリにすすめない。地主と富農, 中部の一部, 国農(召男)。
- *話をきいてゐる途中, アタカイウ^マデ^マ卵をしきりに持つて来て, ポンとたいて立てて行く。炊事場で次々ウ^マデ^マてゐる。その煙。
- 堆度站——技術指導所。
- ◎ 外に出る。楊柳のそよ風にそよぐ静かな村。ひろびろとした耕地。小学校となりにあつて, 楽しい遊び声。土塀にかこまれた家々。事務処(?)
- 分け方, 労働力一級 種マキ出来て, 家畜がうまくつかへる。二級, たねまきはできぬ人, 三級 両方でできぬ, 53年のとき, 土地三つにわけた, 生産農業体! 全般的。単位面積をきめる。労働力はどれ位といふことを作物によつてきめ, 点数をつける。
- 「挑戦」「応戦」「表場」「批評」等。
- 農具小屋, 豚, 馬, 牛。
- ニコニコ顔で手を振りに来る農民たち。
- 池で泳ぐアヒル, 蛙の声, 豚の声。
- 「瀋陽市瀋建台区大青村供鎖合作社」

「……信用合作社」ひろびろとした土塀の家。 楊柳 部政代弁所, 百貨部, 器具部, 推銷部, 珍目部, 會計部 (二棟)

- 百貨部 なんでもある。(フィルムはない。)
- 農具部 ○ 柵の中に馬群。
- まん丸い土俵のやうなもの, 樹木の苗床か。

*春聯の赤紙文句

- 一軒の農家

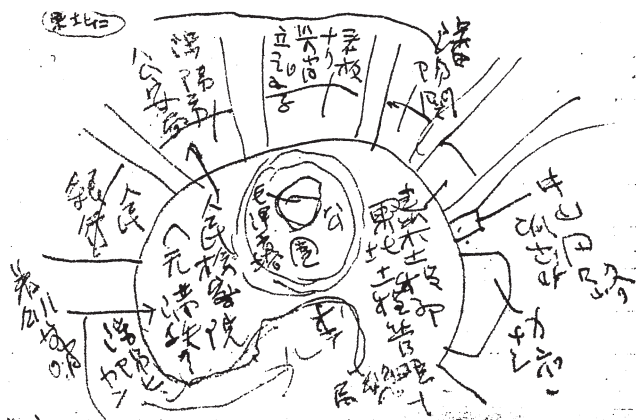


- 1953年度, 小学校を5年にしてみた, ソ連式: しきりあせりすぎたので, やつぱり四年とした, それで四年が今, 二組ある。
- 瀋陽 第一機床廠。()

- 于 増仁さん(工場長)
改築中、生産をはじめてゐる 機械工具加工、鍛工、鋳工、8月にみな出来る。
- 工具工場。ソ連機、チエツコ機多い。どこの機械の横にも植木鉢一つづつ。サボテン、葉ラン、ゴムに似た熱帯植物。
- 工具加工工場。ソレン技師。握手する吉岡さん。畑中さんロシヤ語で話す。いろいろな精密キカイ、すべて CCCP と入つてゐる。機械操作を指導してゐるソ連技師。
- ギヤ工場——「今日台湾」のポスター。軍と役人と買朔の三匹の犬がイガミあひ、ガンジガラメになつてゐる絵。軍は蒋介石。
- 外は改築、増築の大工事。完成したらすばらしい規模になるにちがひない。
- 装置中の仕上げ工場、
- イモノ工場 キカイニハリガミ「反対使用」「原子武器」赤い紙。
(□□□事務所)
- さんの話。——1948年解放、昔日本帝国主義者ならびに国民党のスプリング・モーター工場であつた。たくさんよい機械、設計図など、持ち逃げ、本部は破壊した。接収のときは外形と古キカイだけしかなかつた。解放後、命令と努力で恢復、再建、復旧の間に技術向上、二種類の鉄盤を生産することができるやうになつた。国民経済に達する工作キカイを作る。大型小型、軽重いろいろ。ソ連政府は最新式の技術をもつて援助、専門家派遣。労働者宿舎、食堂、託児所、指定学校、合作社、理髪店、ミシン屋、ミルク屋などの施設。文芸活動——業余技術学校、毎週一回映画、図書館、音楽会。古い環境、技術も完全には拂拭されてゐない。指導者は年が若くて経験がない欠点がある。
- 松岡武一郎さん——最新式ソ連機械がたくさんあることに感心した。日本は新しい機械を入れかへることが行はれてゐない。昨年五月、大阪で米英、

西ドイツ，スイスのキカイ展示会があつた。国際見本市。日本のは七年乃至十五年遅れてゐると意見一致。大会社は若干新キカイを買つたが，部分的にすぎなかつた。社会主義国でないとダメ。イモノ工場の砂の処理装置はソ連式か。——答，ソ連の専門家たちは直接現場指導。

- 労働者，4000位，再建中なので具体的の数字が出ない。また，流動性がある。現場労働者は75%，女工は10%，給料，最高120円，最低30円，技術上の水準によつて8級にわけてある。ソ同盟と中国とのとりきめた援助工場の中にふくまれてゐると思ふ。ソ連から来た機械は中国人の体格に合ふやう，取り付けのときに，地面と調節する。精密キカイを使ふときに立つゴミを吸収する設備はしてある。この絵の工場は東北に唯一かどうか，いくつかあるか，自分は知らない。



歌舞晚会

遼寧人民芸術劇院歌舞団演出 1955

◎遼寧人民芸術劇院

※（吉井孝，河原重巳両君へ ハガキ）

5月15日（撫順）㊦

- 8時半バスで出発。城内に入る。城門は全部とりこわしてある。吉順統房
あとは百貨公司，小東関小什街は別の道。

● 撫順橋 渾河

○ 5月15日夜

*1944年。ピカソの鳩の絵，棋馬額

◎ 撫順賓館

- 超さん（撫順市平和委員会副主席）

燃料工業都市。1949年 187000。現在1954年度70万。解放の時，炭伝水びたしになつてゐて，市民は食べ物もなく困つてゐた。それを救済し，工業の復活につとめた。小学校生徒1万が10万になつた。中学校4ヶ所が15ヶ所になつた。市に文化館，文化クラブ，文化ステーション，各鉱山工場にもある。病院二つだつたのが五つ，新しい労働者ふえたが技術面でなかなか追いつかぬ。幹部の数足らず，質もあまり高くない。これから改善向上しなければならぬ。

- バスで出発。街を抜ける。色彩のないくすんだ感じ。方々で運動会。さういふところと，なほ残つてゐる五一労働節のアーチなどだけが，舶烟としてゐる。道のゆるいコース。露天掘り見えて来る。
- 撫順炭鉱（露天掘鉱区）
- さんの話一
- 階上のバルコニーから展望。しぶい色の絨氈をのべたやう。地層はつきり。黄色い糸，灰色，黒。うごいてゐる電車。レール，キカイ化。ハツパの音。

- 黄土層，綠色頁岩，油母頁岩，炭層の四層。含有量最高8% 最低5.3%。
オイルシエール油母頁岩。
平均6.5% 厚さ80m，石炭層，厚いところ120m，狭いところ40m，
平均80m 東西6600m，南北1500m，深さ200m

*地層の段々畑

- 生産課程 1. 穿孔 2. 爆破 3. 採掘 4. 運輸
- 石炭層の間の横穴。周囲の工場，エントツ。
- 地底から挽きあげられて来る石炭 斜のレールの横「努力生産保証超額完成国家計画為解放台湾両奮闘！」ケーブル。
- トロツコで下にさがる。黄土分の楊柳。
- 電気シヤベルで「皮ムキ」3.14m。
綠色頁岩無用，電気機関車11台ひく，一貨車25立方に，自動車操作。綠色頁岩をすてる。
- 採掘電気シヤベル，1トン
- 積炭貨車，3.3トン，ケーブルカーであげる。視野に見えるのは6分の一。
- 生産力高まる。1949年を100，1954，274，1949年の305%，370万トン，皮ムキ作用，1949を100，1954年510，55年3959，49年度の592%，□□皮ムキ月当り7万立方m，日当り，石炭採掘12600トン。
- 労働者，最高賃銀110円，待遇，作業員によつて異なる。
- 深部作業，約15160人餘。
- 石炭の中の琥珀，散らばつてゐる。拾つてかへる，富永氏。
- 原油工場
- 「莫莫這筆驚人的浪費」四月二十三日正午の会で，おどろくべき浪費家のゐることがわかつたといふ黑板のかきだし。
- 撫順賓館にかへつて昼食。戦犯に逢ふ注意と打ち合せの話。二時出発。

心ときめく。渾河にかかつてゐる永安橋をわたる。立派な鉄橋であるが、ひどく幅がせまい。バスはすれちがふことができない。橋は車で巡查、交通整理。場末の民家。永安の標識。監獄らしい建物見えて来る。

- ◎ 日本人戦犯管理処。高い灰色レンガ塀、そのうへの電流有刺鉄線、四角の監視塔に監視兵。入つて行くのに足が速い。センパンといふ言葉は胸をえぐる。きこえて来るとよめき。
- クラブに入る。ずらりとならんでゐる工作員、女工作員もゐる。
- 所長 さんの話。一学習自由。食事は工作人員と同様、衣、医務室、フジタヨシヲは足結核をわずらつたので病院に送つた。視力がわるい者には眼鏡、歯のわるい者は歯の治療をする。1. 参観時間、約2時間とする。2. 参観範囲は医務室、炊事室、浴室、風呂場等。3. 日曜なので、バスケットとバレーの試合をしてゐる。4. 規則一①秩序を保つこと ②直接手紙や品物をわたさぬこと ③戦犯と自由に談話しないこと、特に氏名提出して行ふこと ④一人づつの案内者をつける。一写真は工作員をうつさないやうに。
- 案内人、一人一人について所内見学。「人民解放軍」の徽章)
- 炊事室、消毒室。
- 面包爐（パン） 理髪室。
- 厨房 鍋爐房
- 浴室
- 宿舎一八人、十人、四人、六人などいろいろ。白いベッドとふとん。クルクル巻いてあるものもある。
- 医務室、薬局、□□□□□□
- 病室一看護婦 病人の身体をふいてゐる。ジヒットこちらをにらんだ年配病人。（歌声）病室の窓ガラスにはめてある鉄格子
- 運動会一
- バレーボール、運動場で二組一4一49人。
- 体育部と文化部 前者手前、コバルトパンツ、白ランニング、黒ヅック、

黒帽，文化部 エビ茶パンツ，黒ランニング みんないい身体してゐる。

- 見物，ずらりとならんで熱狂，黒ズボン，黒帽，白シャツ，旗ふり，拍手して熱狂，旗赤，緑，桃色。しきりにふる。フレーフレーの声。
- 四つの部—文化部，学習部，政治部，生活部。
- バレー，笛の音，笑ひ声，サーブが下手で失敗する組。
- 民族独立合同行動隊の歌，合唱（防犯楽隊）
太鼓，風琴，さらにクラリネット，ヴァイオリン。
- 平和を守る歌合唱。
- また，バレーはじまる。

欄外

| | 文化 | 体育 | 学習 | 生活 | — | |
|---------------------------------|----|----|----|----|---|--|
| ウ ン ド ウ 競 技 別 | 10 | 4 | 0 | 10 | — | |
| | 15 | 30 | — | — | — | |
| | 10 | 6 | — | 50 | — | |
| | 17 | 10 | 4 | 10 | — | |

予定表とプログラム 高い塀にはつてある。

「大運動会」プログラム 1. 合同行進 2. 開会の辞 3. 連合体操
4. 100米競走 5. 低ハードルリレー 6. スプーンレース 7. 鯉の
滝上り 8. 人探し 9. 混合リレー 10. 変装競走 11. 1500米競走
12. 玉入れ 13. 800米リレー 14. —

- 3.35分 笛鳴り，試合しばらく中止のマイク。「アジア会議日本代表吉岡先生より講話を行ひます。選手はもとの位置にかへり，服を着るやうに」選手たち，かけ込んでかへる。工作員「ここで話してききとれますか」「はい」「大丈夫?」「はい」
- 吉岡さん挨拶。「このたびアジア会議に出席，中国和平委員会のおまねきをうけてやつて参りました。このたび，会議の目的は，ふたたびアジアで戦争をしてはならないことをアジア中の人々で話しあつたのであります。各団

体、各代表が参加した。前例がない（団員、紹介）。紹介のとき、吉岡さんが「火野葦平さん、麦と兵隊の作家」などといふのでヒヤリとする。中国平和委員会に許しをうけてここに参りました。（オーといふ喚声拍手）。ここへ来て、私たちが戦争中、反戦思想のためつなされた牢獄にくらべてどんなに立派かがわかりうれしくなりました。故国に伝えたいことがあればお伝ひいたします。ふたたび戦争をくりかへさないやうに、おたがひに努力ませう。（ウオーツ 喚声 拍手）一胸せまり、涙出る。複雑な感慨。

- ミヤザキ、ヒロム氏「一同代表、挨拶いたします。アジア国家会議に参加されたことを心からおよろこび申します。過去、日本の一部の軍閥、財閥の行つた侵略戦争にカリダされてはかり知れない罪業をおかした者であります。（ウオーツ）8千万の国民にはかり知れない責を追つてました。過去をふりかへると胸のはりさける思ひにかられます。（ウオーツ 同感）今ははつらつとして元気であります。小運動会を通じて元気な姿を見て下さい。日本にかへつたならば勇気をもつて、日本の独立と平和のためにたたかつてゐることを伝えて下さい。許されてかへつたならば、手をたづさへて、ゼツタイに侵略戦争に反対するものです。（同感）世界の人たちが幸福になるやう、たたかふものです」

- 「唯今より各試合を開始するやうに」（四時）
- ふたたび運動開始、クラブにかへる。
- 所長さんの話。「時間を三十分延長します」
- 戦犯名簿（李徳全女史持参）の一部分は山西にゐる。
- 面会者呼び出されて来る。名簿一冊しかなく、なかなか廻つて来ない。誰でもかまはず名を出してみる者もある。どうも気が重く、知らない戦犯に逢ふ気は起らない。自分の立場。「夕食時刻になりますので、あと三分」もう名簿見る時間がない。誰か知つてゐる者があるかも知れない。
- 行政官吏系統 武部六義（偽満国務院総務廳 ソーム長官）警察系統 特務系統 前日軍第59師団 54旅団 39師団、232連隊、63師 117師 憲兵、

等（名簿一枚20名づつ43頁，800名位）

- 面会していろいろ話してゐる人たち。涙声，笑ひ声。写真のフィルムも切れてしまった。
- 文化部，劇「内灘村」内灘は日本人の村だ，金は一年，土地は万年，アメ公出て行け！ 総音□
- 演芸大会 壁の写真はづしてくれる。辞去。
- 戦犯所から渾河をわたるとすぐ。
- 撫順市 産院。135節さん。
黒い服，黒い帽子，黒い靴。部屋に入る。二人ずつ立派な部屋，豪華なかざりのひとつの 。桃色のドア。

（ここから縦書き）

文化委員会（四月九日，デリー）

インド代表——文明と文化論，文明は技術的，表面的，知識の問題，文化は叡智の問題，東洋文化はウイズダムである。

議長——（シリヤ）文化は人民のためにあるものだから，そんな区別なんかしなくてもいい，文化は政治経済と引きはなされない。

- 中国代表——中国もインドからいろんなものを受けとつた，高い文化の国，政治経済と文化ははなされない，日本の現状では真の文化の発顕は考へられない，アメリカにしばられてゐる状態では。西洋文化を排するものではない。
- 福田氏発言。宗教の題を英語でやりだす。中国側から宗教委員会は別にあると注意され，出る。
- 日本代表（木下順二氏）——日本ではどんな文化も政治経済と切りはなされない。
- 草案，長が，民が，決議案で短かくなつた。
- ソビエート代表，なんにもいはなかつた。

- 議長，十時四〇分ごろ，これで終りといふ。日本が提案があるといふと，すでに発言を許したではないか，といふ。書いて出してくれといふので出す。午後もあるかと思つたら，午前で終り。自分はもうクビになつた，解放されたといつて受けつけない。あつけにとられる。日本側は提案をゆつくり午後出すつもりであつた。

5月3日 文学座談会

艾 青 詩人

楼 適夷 人民文学出版社副社長，日本文学研究者

韋 君宣（女）「文学学習」主編

蔡 儀 北京大学文学研究所研究員，教授

彭 朔 中国作家協會外国文学委員會副主任，作家

臧 克家 詩人

巖 文井 「人民文学」副主編，作家

陳 伯吹 児童文学作家

- 陳 白塵 戯劇作家，中国作家協會秘書長

老生劇

遊園驚夢

越劇—紹興文献

崑曲

哼—唱

平和委員會秘書長 劉貫一氏

（カンヅメ）かえらん

○ 作家の生活のうらやましさ

ること

○ 芸術が民衆のものになつてゐる

十円マケル

○ 政治 年令と人間（東京市場

びつくり「ドロボウ」

北京発 11日 16:00 撫順，戦犯面会
瀋陽着 16日——午前4:00 (坂本——事務局)
(平壤着 16日—— 21:53) (泊谷)

◎ 5月7日，天橋街頭写真屋撮影。

右よりナカムラカンエモン ナガセキヨコ，タンノセツコ 火野葦平



北京の茶店



5月6日以後プラン（北京）

| | 朝 | 昼 | 晩 |
|-----|----------------------|--------------------------|------------------------------|
| 5日 | | | |
| 6日 | | | |
| 7日 | 経済座談会 全体会議 | 科学院 | 評劇 |
| 8日 | 休息（教会ミサ）9時 | 個別行動 | 京劇 |
| 9日 | 農業座談会 10：00 ソ連大使館 | 菓子工場見学 | サーカス |
| 10日 | 8：40 ラジオ 中央戯劇学院 | 平和委員会 2：20 朝鮮大使館 4：30 | （艾青さん）映画 郭沫若氏招待 北京飯店放送 |
| 11日 | 全体会議 | 4時出発（東北へ） | |
| 12日 | | | |
| 13日 | | | |

5月11日 発 汽車。（吉田，近藤，根本，火野）3号

「花と龍」寄贈（文庫）

北京一翫右エ門 亀田，蘇琦

（青春と泥寧）

○ 吉岡，長谷川，近藤，中原，阪本，丹野

ソ連大使館

（ボックス）チカノフ（対外文化部）

○ はじめから大きな期待を持たず，つながりができればいいといふ気持。

（午後の連絡一文通）

社会文化，分科会

（福田老人—宗教発言）

5月11日 全体会議 (宗教 教育 社会)

[文盲—17%しか文字が読めぬ]

○ 文化会のメモ

○ アジア諸国会議代表—郭沫若氏外代表に, 文学者人も作家多い。

4月9日午前9時開始—10時半終了。シリヤ議長サツケニノーらしい。

- ①各国の歴史を作つて交換
- ②人を交換しあふ, 招待でなく働きながら
- ③文化センターを作ること (資料の交換, ホンヤク)
- ④民族文化の伝統を守ること

決議 恒久的組織

アジアのルネツサンス

(ヒンズー語
ウルズー語
戦争文学, チヤンドラボース。
進歩的なものもある。)

小説 スワミ・ナダム

英 アーナンド Cadil Untouchable その他 (ボンベイ, カルカタに文化中心がある。)

ナラヤン (Bocheleu of Auto) ○ 発表機関がない。

詩 詩運動盛ん, サロンで発表。

美術 ラン・クマール。 ジャミニー・ロイ

展覧会と画集, フツセーン

美術館……アミルタ・セルギル (マクオ, 女死)

演劇 シーズン・オフ。

映画 DO BIGA ZAMIN

(ここから縦書き)

アジア諸国会議のメモ (五月十一日, 新僑飯店にて)

一, 全般論 (畑中正寿氏)

ビルマ (5), セイロン (6), 中国 (40) (スタッフ16) エジプト (1), 日本 (36) (スタッフ5), トマンスヨルダン (2), 朝鮮 (6), レバノン (6), 蒙古 (5), パキスタン (3), シリヤ (9), ソビエト (14) (スタッフ6), ヴェトナム (9) (スタッフ5), ネパール (7), インド (48), 百九十八名。参加国15。

はじめの予定より減つた。人数も減り, 国も減つた。

- 不参加 インドネシア。(アジアアフリカ会議のためか) パキスタンは亡命者が出席ただけで, 国として来てゐない。パキスタンが昨年アメリカと軍事協定を結んで以来, カシーニールの問題があり, パキスタンから代表を送ることは困難であつたらしい。
- ビルマ開会の朝ついた。ランゲーンは反動社会党になつてゐて, アジア会議を妨害する傾向があつたので, 大勢来ることができなかつたといふ。ビルマ代表には若干旅費支弁。
- エジプト, アフリカ国家であるが, アジアとの連結点といふ意見で入れた。アラビア民族の代表といふ意味もあつた。しかし, このため, 分科会でアラブ問題がおこつた。
- ヨルダン, レバノン, シリヤ合して十七名, 国際書記局からゲストハンドとして何名かに切符をあたへた。平和運動困難の国で資金がむつかしかつた。軍事協定にまきこまれないかといふ危険がある。
- 日本は全部自費で世話にならず肩身がひろかつた。

会議成立, 昨年六月ストックホルムの平和大会で, インド代表と日本代表が話し合つたのが発端, 日本の立場重要。

- 目的——アジアに関する共通の問題について意見を交換する機会をつく

り，相互理解を深め，アジア人は協力して，世界の緊張を緩和することに役立つ。

- 議題——平和五原則，アジアの安全保障と平和の基礎，これを世界に浸透させる。
- 八月六日，ヒロシマ原爆十周年記念日をもつて抗議の日とし，世界にむかつてよびかけるといふ文字が挿入された。
- 大量殺人兵器の禁止（原水爆）はじめ議題の三番目途となつたのが，決議にはトップになつた。
- 植民地主義とアジア諸国における内政不干涉。バンドン会議でもこのテーマが政治問題の中心。
- 軍事同盟，軍事条約，及び軍事基地から来るアジアの危険。会議を明確にする議題ではあつたが，パキスタンなどを参加することを制約した。
- 中国を国際連合に参加すること。国際連合は本来の姿にかへれ。
- アジア諸国間における外交関係の正常化。日本から提案した議題。日本を国連に参加させること。但し，いかなる軍事的協定，前提条件もないこと。どこかの代表が提案してつけ加へられた。
- 経済——これは日本が重要。（バンドン会議で，周総理と高崎代表とが逢つた。そのとき，周首相は，日中友好は両方から努力し，近づかねばならぬ，といひ，高崎は同意したが，台湾問題が障害と意見一致。高崎は中国と台湾一元化の立場，しかし，どうして解決するか，といふことに対して，周総理はそれは，武力によらずとかいろいろあると答へた。民間の接触だけでは不充分，政府発端の時機，それには日中貿易常設機関を作ることが大切といふことに一致。（廖承志さんの話。）
- 主報告は日本ときまつた。（小林義雄氏が担当。）
- 科学——社会及び文化問題をロシヤが引きうけようといふことになつたが，直前辞退し，日本とインドがやることになつた。（富永氏担当。）
- 社会，文化，宗教——平和のための宗教家の活動として日本から提案

(泉さんのキリスト教矯風会から出た)、宗教分科会が持たれた。

- アラビア諸国の代表が活潑に動いたことの意味(シリア、レバノン、トマンズヨルダン) 金がないので、ゲストハンドで来て諸人の自宅に泊つてゐた。軍事基地にまきこまれる不安から焦燥。アラビア諸国の自治と独立といふことが別項になつた。ソ連はそれに重大関心。
- 人種差別による協議の中で、南アフリカでインド人が圧迫されたことへの抗議。北アフリカ諸国民族へのメッセージ。インドとアフリカは近い。アフリカのナッセル大佐を迎へて大歓迎。
- 科学——連絡をつけようといふ決議。
- 結論——日本の責任重視、南方アジア諸国の動き複雑、アメリカの働きかけが強いことへの傾向、コロombo諸国を北太平洋条約(SEATO)でつき崩さうといふ圧力。二月末締結。アジア諸国会議はアメリカのアジア攻勢への困難をおかして立ちむかつた。複雑なインドで開かれたことの意味は大きい。はじめネール首相はじめ、^{コングレス}国民会議は背をむけてゐた。ネールは、なんで日本は四十人も来るのかと側近にいつたといふ。また各国からゾクゾク来るのを見て、アジア会議の重要性を後になつて感じはじめたらしい。バンドンのアジアアフリカ会議をひかへての意味も大きい。それで、メッセージも出さなかつたネールが代表を招待した。結果においてこの会議の効果は大きかつた。
- 中国は郭沫若団長をはじめ、そうそうたる人がたくさん来てゐるし、本腰を入れてゐることがわかつた。中国の最大問題は台湾問題。平和五原則(ネールと周恩来)
- アジア連帯委員会(Solidarity Committee)ができた。連絡しあふ。情報と資料を交換しあつて友情を深める、といふことを郭沫若が主張した。日本はアジア連帯日本委員会をつくる。各国が三ヶ月以内につくり、その書記局はまだきまつてゐないが、恐らくインドになるらしい。組織は幅ひろいもの。

- アジア労組会議も、連帯委員会を通じてやつたらといふ、総評高野氏の意見。

(決議文は後に印刷配布される)

パンチシーラー (インド語 平和五原則)

○ 政治——(和田氏)

一、平和五原則について。全面的支持。相互理解と平和的共存の基礎をかたく信じる。ネールは五原則によつて世界に挑戦する、したがつてアジア諸国民はこれに責任をもたなければならない、といつた。

キタビタル教授「五原則は新しい太平洋憲章である」といつた。

二、大量殺人兵器の禁止と監視。八月六日を抗議の日とする。

三、中国と国連に。すべての人が中国を承認しなくてはならない。

四、国連は元来の目的にかへれ。

五、アジア諸国関係の正常化。公式の関係を持つこと 戦争による悪化の払拭。日本には国際的に正常な地位があたへられ、国連加入の際にいかなる軍事的圧力条件をつけられてはならない。

六、人種差別撤廃の問題。

七、バンドン会議へのメツセージ。

八、アジア諸国民への訴へ。連帯の精神は五原則の無条件承認。

九、北アフリカ国民に対するメツセージ。

○ 第二の会議——アジア諸国を分裂される軍事同盟、條約、及び軍事基地から来る危険。徹底的反対を表明する。すべてのさういふものが撤去されることを要求する。

○ 第三——アラブ諸国民の民族独立のため闘争を支持する。

◎ 植民地主義と外国の干渉に対する反対。1 台湾問題。第四の決議——中国に属すること明らか。

○ インドシナ問題。 ○ 朝鮮問題。国際政治会議の召集を要求。朝鮮

人民と南北の議会によつて訴へる。 ○ ゴア問題。

○ 蘭領ギニアにあるウエストリアの問題。

○ 沖縄—オキナワはただちに日本に返還されなければならないことを要求する。

○ マレー問題。

*十ヶ国(コロンボ 国全国連加入五大国)で解決されること。

● 社会(鈴木朝英氏)

○ アジア社会における婦人や子供の地位が討議された。

○ 学生運動

● 文化(松本正雄氏) シリヤ代表。

○ インド代表発言、文明と文化の問題。

○ 科学(早坂一郎氏)

○ 原子力を中心とした政治問題。

○ 宗教(松本正雄氏)

○ 複雑な宗教、ヒンズー教とイスラム(回教)。アメリカがイスラム的なものに働きかける。キリスト教と共産主義。共産主義がキリスト教とをつぶすといふ宣伝。アピールにかかれてゐる問題は明瞭。中国における宗教の問題。宗教は当然平和運動に参加しなくてはならない。侵略戦争に反対する。反動的な諸勢力が宗教を利用することへの警戒。

(吉田敏夫氏補足) 宗教と眞実。日本側の立葉をアピール。

○ 中に数多く入れてくれた。ソビエトにおける宗教の自由。代表は回教徒。ヒンズーと回教との争ひ。ヒンズー代表が自分たちの教を信奉してくれと演説したりした。教理に横はる眞実によつて結びつくこと。

日本側、大本教の出口氏、日蓮宗の佐藤氏(藤井日蓮師代理)、天理教吉田氏。仏教來馬氏等。

○ 婦人(安部きみ子)

軍事基地の中の日本の婦人と子供からの訴へがしたかつた。インドの婦人が非常に平和を愛し，熱情的で親切，友情に厚い。

○ 帰国後，アジア諸国会議の成果をどう拡大するか。

一，代表を地方別にわける。（責任者）

①北海道 鈴木，泊谷

②東海 長谷川，松本（宏）

③関西 朝田

④中国 吉岡，永瀬

⑤九州 中村，火野

⑥関東（関東平和懇談会） 秋元，古見

⑦東京 安部，牧ノ内

五月十五日 撫順戦犯管理所訪問注意。

○ 今日行くこと，通告してある。

○ 平和代表として若干特別に扱ふ。

○ 写真——所長の指示をうけてから。

○ 戦犯生活の写真一揃ひくれる。

○ 逢ふについて，一人，代表をきめてもらひたい。

○ 個別的に逢へるが，誰が誰にを申請して許可を得る。

○ 名簿を見たうへで面会をきめる。

○ 向ふに行つたら管理所の規則を守つてもらふ。

注

- 1) 拙稿 火野葦平『新中国旅日記Ⅱ』翻刻，紹介【一】（『東西学術研究所紀要』令和4年7月，第55号）